

# 農作物病害虫発生現況情報（7月） ねぎ編

## 1 さび病

(1) 7月下旬の巡回調査では、発生圃場率は40.0%（平年35.0%）であり、平年並であった（図1）。

## 2 べと病

(1) 7月下旬の巡回調査では、発生は確認されなかった（平年19.0%、図2）。

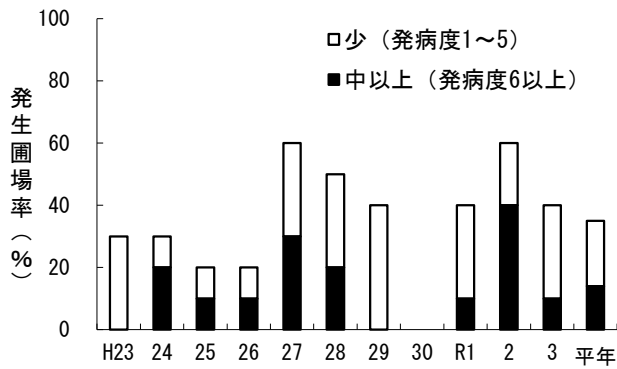


図1 さび病の発生圃場率の年次推移（7月下旬）

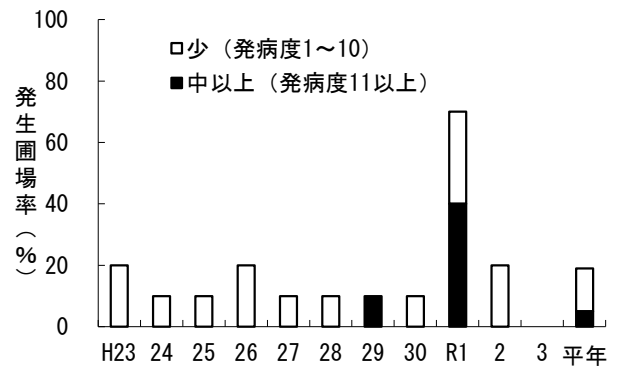


図2 べと病の発生圃場率の年次推移（7月下旬）

## 3 黒斑病・葉枯病

(1) 7月下旬の巡回調査では、発生圃場率は50.0%（平年34.0%）であり、平年よりも高かった（図3）。

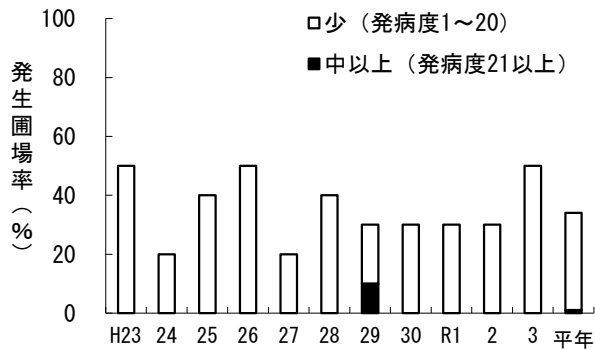


図3 黒斑病・葉枯病の発生圃場率の年次推移（7月下旬）

#### 4 ネギコガ

(1) 7月下旬の巡回調査では、発生圃場率は40.0%（平年35.0%）であり、平年並であった（図4）。

(2) 時期別の被害葉率は、7月上旬以降、平年よりも高く推移している（図5）。

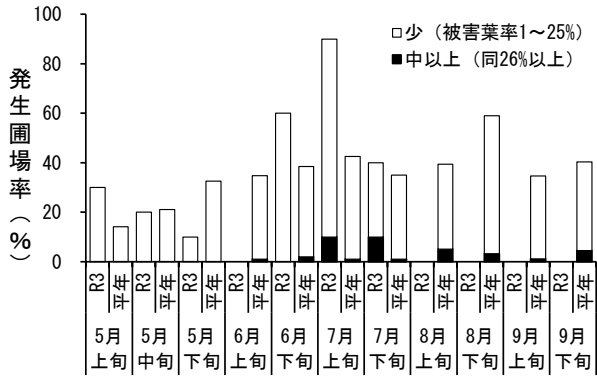


図4 ネギコガの発生圃場率の時期別推移

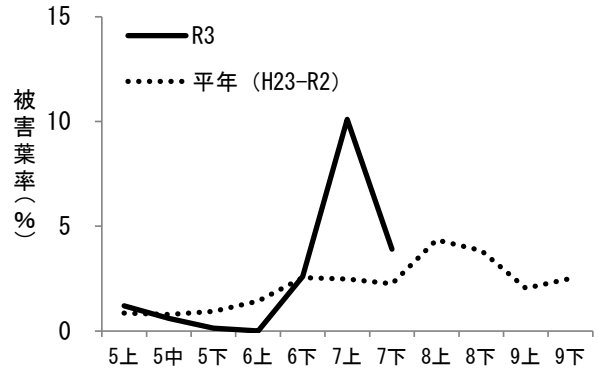


図5 ネギコガによる被害葉率の時期別推移

#### 5 ネギハモグリバエ

(1) 7月下旬の巡回調査では、発生圃場率は80.0%（平年57.9%）、被害程度中以上の圃場率は30.0%（平年17.7%）であり、ともに平年よりも高かった（図6）。

(2) 時期別の被害度は、7月上旬は平年よりも高かったが、7月下旬には平年並となった（図7）。

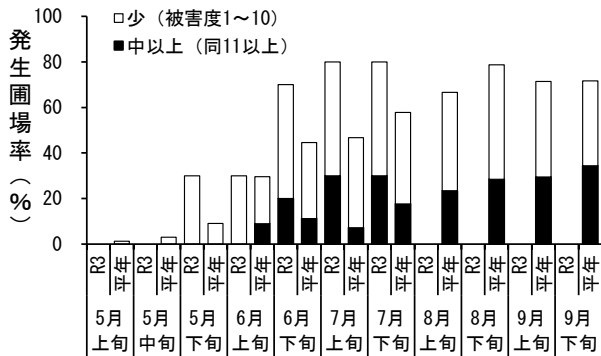


図6 ネギハモグリバエの発生圃場率の時期別推移

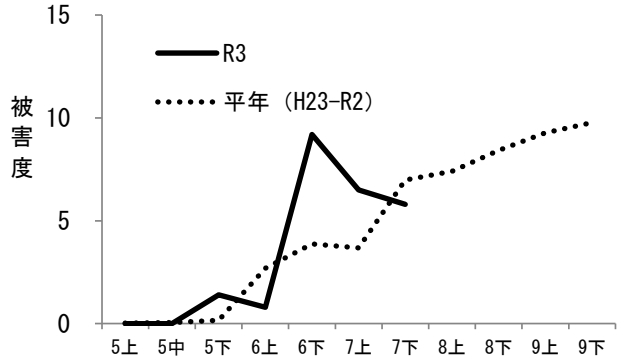


図7 ネギハモグリバエによる被害度の時期別推移

#### 6 ネギアザミウマ

(1) 7月下旬の巡回調査では、発生圃場率は100.0%（平年88.0%）、被害程度中以上の圃場率は80.0%（平年46.8%）であり、ともに平年よりも高かった（図8）。

(2) 時期別の被害度は、平年よりも高く推移している（図9）。

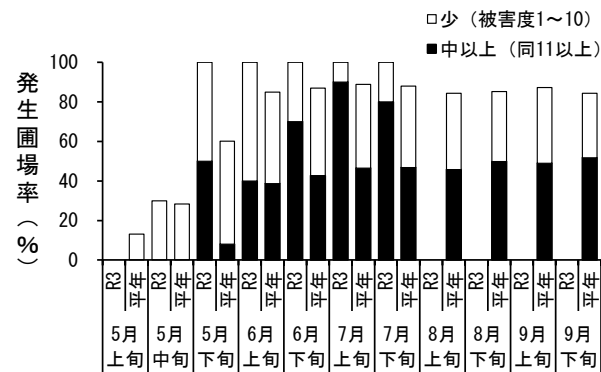


図8 ネギアザミウマの発生圃場率の時期別推移

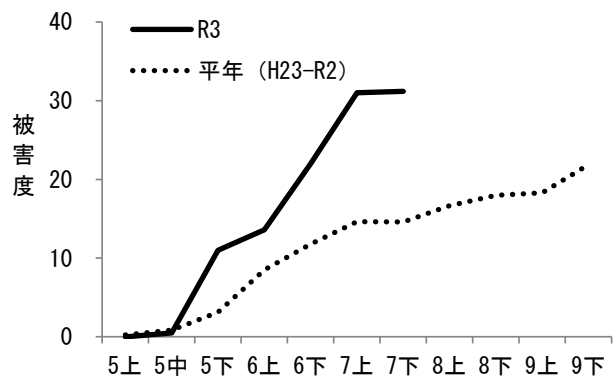


図9 ネギアザミウマによる被害度の時期別推移